

平成28年8月30日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(33回公演)報告

28.8.29 特別養護老人ホームユウネスデイサービスセンター 寄居町保田原

台風が関東に接近するなか、33回公演を行いました。

今日は「いきがい大学県連協」が推進している「ボランティア事業」熊連協からの代表者である33期山崎志津子さんにも同行視察していただきました。

午後2時15分からの開演で、1時30分に高橋所長さんから出迎えを受けました。

丁度食事後の仮睡眠時で、園内は静まりかえっているなかで準備に取り掛りました。

定刻になり会場に入る頃には25名程の利用者と職員が待っており、大きな拍手で迎えられました。 先ず担当者からの短い挨拶を受け公演が始まりました。

もちろん山崎さんには少しでも体験していただきたいという思いから、黄色い「半てん」と頭には「てぬぐい」を付けてもらいました。

公演は舛田さんの「南京玉すだれ」の口上から始まり、デイサービスの方々の調子に合わせた拍手と共に進み、「玉すだれ」の形の変化に「すごい」という言葉と驚きの声が聞こえました。我々の自己紹介のあと、利用者の下に大きな輪をつかった「玉すだれ」を持っていき、直接触れてもらい交流しました。利用者からは「以外と重いね」という感想が聞かれました。「麦畑」の演技、次は根岸さんの健康体操「サザエさん」には職員の人も持参したエプロン姿で参加し、利用者とともに汗を流しました。演技をする毎に我々と利用者、職員のみんなが一体となり、楽しい時間が作られていきました。

50分程の公演も終わりに近づいた頃には、「また来てね。待っているよ」という声が処々から聞こえ、我々も利用者の方々と手を握り合い、再会を約束し手を振って退出しました。

山崎さんには実際に高齢者施設でのボランティア活動を体験してもらいましたが、その感想は「高齢者の方々が笑顔になっていくことに感動しました。」という言葉に、更なる努力をみんなで誓いました。





